

2016年度の事業計画

＜今年度事業＞

ソーシャルデザイン事業（収益事業）

目的・概要：地域情報やコンテンツをデザインし、京都北部の情報発信力を高め、魅力ある発信を行うことにより、地域経済の活性化を促す。地域と地域、団体と団体をつなぎ、コーディネートすることにより、京都北部が一体となった活性化を進める支援を行う。またこの事により新たな雇用を創出し若者の定着に結び付ける。

Ma vie との協働事業・児童館との協働事業他、NPO 支援

昨年度、俱進会の助成金により行った「デート DV 防止事業」などの DV 防止事業をさらに推進するために、京都北部でこれまで DV 防止事業を行ってきた団体をゆるやかに結ぶ「Ma vie」という組織を立ち上げ、それに当 NPO も参加する形で、事業を支援していく。

また、六人部の児童館との協働事業として、外国籍の親を持つ子どもの支援を日本 NPO センターの助成金を活用して行っていく。

さらに、その他にも NPO や中小企業の助成金申請等の支援を行う。

(支援の内容)

助成金等の企画・立案、報告書の作成、アンケート等の分析、情報発信、労務等について支援

ドコモ位置情報システムを使った高齢者見守りシステムの構築・展開

第1段階

- ① 地域を決めて、見守りシステムと一緒に活用して、何が出来て何が出来ないのかを検証する。
- ② 出来ない部分を人間がどのようにカバーしていくかを実験検証する。
- ③ トータルで運用できるようなシステムを考える。

＜方法＞

- 地域を決める（1～2か所）
- サーバーシステムを準備する
- 実験に同意してくれる治験者を探してお願いする
- 実験をする

第2段階

- ① 第1段階の実験を元に、地域を広げてサービスを提供する
- ② 地域によって違う課題が出てきたら、それを解決するための仕組みを考える
- ③ より良いシステムを構築する

第3段階

システムを京都北部に展開する

福知山公立大学と企業の連携部分の支援

今年度の福知山公立大学の新設に伴い、地元企業による卒業生の受け入れと応援を行う為に、新たな企画も取り入れながら、市民と企業と大学が良い関係を築き、これから少子高齢化が進む地方における地方公立大学の在り方を築いていくための支援を行う。

京都府中丹振興局との協働

昨年までの講座・交流会などの継続を考える中で、相談業務などを振興局からの委託などの形で実施することで中間支援の役割を果たす（振興局からの要請があれば具体的に検討していく）